



緑小だより(臨時号)

令和3年3月23日
墨田区立緑小学校
校長 近藤 幸弘

家庭数配布

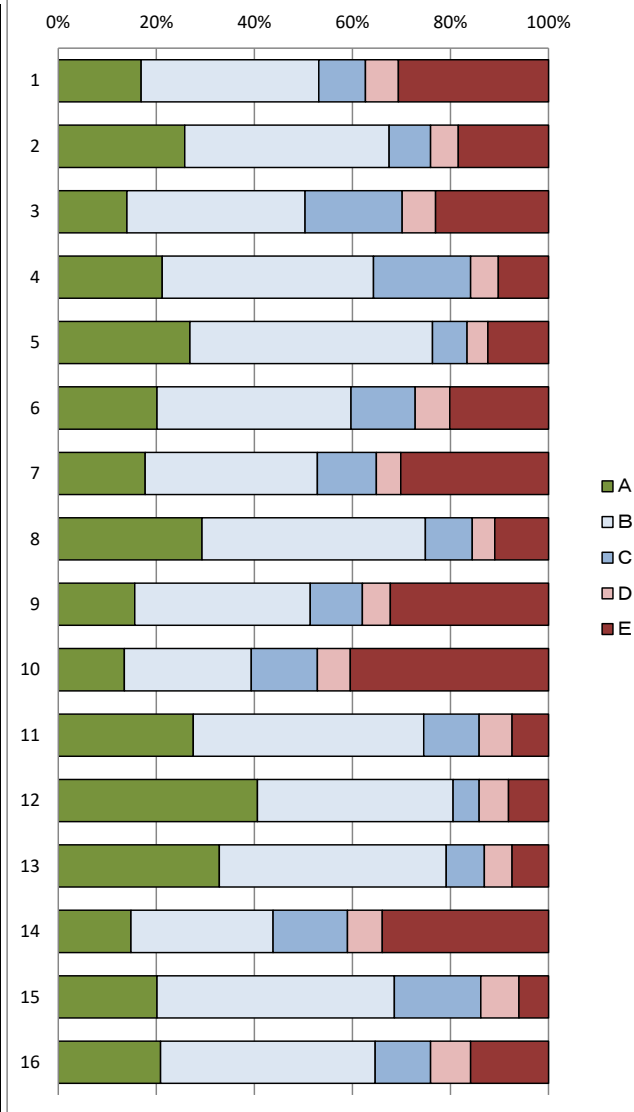
令和2年度 緑小学校 学校評価アンケート集計結果

集計総数 285
提出割合 63%

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
1月末から皆様にご協力いただいた評価の結果をお知らせします。
令和3年度の本校の教育活動に活かしていきたいと思えます。
今年度は、アプリケーションを使用した形式で行わせていただきました。学校評価へのご協力ありがとうございました。

- A・・・そう思う
- B・・・どちらかというと、そう思う
- C・・・どちらかというと、そう思わない
- D・・・そう思わない
- E・・・情報や事例が少ないので、分からない、判断できない

各教科指導等	1	グループ活動や話し合いの場面では、タブレット端末を活用して、自分とは異なる思いや考えを知り、自分の考えに自信をもったり、見方を変えたりするなど、考える力の向上を図る授業が行われている。
	2	ICT機器の活用や学習形態、教材の工夫などの授業改善により、子供たちが主体的に学習に取り組む授業が行われている。(1月より1人1台のタブレット端末を導入)
	3	授業中や家庭学習での振り返りや放課後すみだ塾(6年のみ)を通して、個に応じた学習、基礎学習の定着が図られている。
	4	学校司書やMBC7による読書環境の整備、「家読」(親子読書)やしおりの配布(1年生)など読書活動の推進により、子供たちの読書に対する意欲向上が図られている。
	5	地域人材や企業を活用した授業を推進している。(緑小オーケストラ、認知症サポーター養成講座、SNS指導など)
生活指導等	6	年3回のアンケートや年2回のアイチェック等から子供の思いや考えを捉え、保護者との連携を図り、いじめや不登校の予防、早期発見、早期解決を行っている。
	7	いじめ防止授業地域公開講座、道徳授業地区公開講座などを通して、心の教育を推進している。(授業は実施、公開は無し)
	8	あいさつキャンペーンなどの活動や「みどりスタンダード」を基に、基本的な生活習慣、規範意識の向上を図っている。(新しい生活様式への移行、手洗いの指導、マスクの着用の徹底)
	9	ペア学年活動や「かくかくタイム」を通して、友達と協力したり、頑張りを認めたり、より良い人間関係を築く取組を行っている。(手紙を通しての活動など)
	10	近隣の幼稚園、保育園、小学校、中学校との作品交流を通して、温かな人間関係を大切に作る豊かな心を育てている。
	11	体育の授業やなわとび、屋上遊びなどの取組により体力向上を図るとともに、健康で安全な生活を送れるようにしている。
	12	教育環境の整備や施設の安全管理に努めている。
	13	引き取り訓練や避難訓練など安全対策をとっている。(三密を避けての実施)
	14	(土曜授業や学校公開、運動会や音楽会、様々な)行事を通して日常の教育活動の様子を伝える取組が行われている。
家庭地域連携等	15	緑小ホームページ、学年・学校だよりで、学校の様子を分かりやすく伝えている。
	16	教員と保護者、保護者同士、地域が連携し、協力して児童を育成する風土が作られている。



※自由意見について

様々なご意見ありがとうございました。児童にとって良い学校となるように、改善点の検討を行ってまいります。
今年度は、70件ほどの声が届きました。そのほとんどが感謝や激励の声でした。励みとして一層がんばってまいります。

1～5 各教科指導について

今年度は新型コロナウイルス感染症への対策のために、学校公開が行えず、子供たちの学校での様子をよく見ていただくことはできませんでした。判断できないという回答が増える中、2のICT機器の活用に関する項目については、一人一台のタブレット端末の配布もあつたことで、保護者の方の関心、期待の高さを感じる結果となりました。現在は来年度に向けて試行運用ということで使用しています。教員もよりよい活用方法を見いだしながら有効に使っていききたいと思います。

5の地域人材の活用に関しては、昨年度よりも肯定的な意見を多くいただきました。オリンピック・パラリンピック教育の一環として行うことができた「緑小オーケストラ」の他、対策をしながらできる限りの活動を徐々に増やしていったことがこのような結果につながったと思います。今後も児童の学習がより深まるよう、意図的・計画的に地域人材を有効に活用していきます。

次年度も一人一人の学力向上につながるよう、教育活動を充実させていきます。引き続き、ご家庭でのご協力をよろしくお願い致します。

6～11 生活指導について

いじめ対策に関して、年3回のアンケートは児童に対して実施しています。そこで得た情報から聞き取りをするなどを行っています。児童が安心して学校生活を送ることができるようにしています。引き続き、「学校いじめ防止基本方針」を基に「いじめは絶対にゆるさない」という姿勢を学校全体で周知し、未然防止・早期発見・早期解決に努めていきます。

あいさつに関して、学校での取り組み、活動への理解を得られていると感じます。校内でも自分からすすんであいさつを行う姿など良くなっています。日々の生活の中での機会を通して児童のさらなる意識向上を図っていきます。家庭・地域での声かけも引き続きお願いします。

学校公開を行うことができず、児童の様子を今年度は、幼保小中と連携した活動や「ペア学年活動」のような異学年との活動を行うことができませんでした。より良い人間関係を築いていくには、こうした活動が大切であると捉えています。次年度は新しい生活様式を基に、できることをやっていきたいと考えています。

12～16 学校管理、地域連携について

運動会・音楽会等、実施できなかったことは残念に思っています。次年度もどのようにするか判断しにくいところもありますが、感染予防に配慮しながら、できる限り実施していきます。

校庭の改修工事や体育館の空調の整備などを行いました。数年続いていた工事が落ち着きました。子供たちが安全に活動できるよう維持に努めていきます。

15では、メール配信や欠席連絡システムの活用など良いと判断してもらえたことが多かったです。活動が制限される中で、ホームページに児童の様子を載せてほしいという意見を多数いただきました。学校からの発信が伝わりやすくなるよう、学校での活動がより「見える」ように改善していきます。